

平成23年2月3日

東京の地下鉄の一元化等に関する協議について

国及び東京都は、これまで「東京の地下鉄の一元化等に関する協議会」を4回開催し、東京の地下鉄の一元化や東京メトロの早期完全民営化等の課題を関係者間において共有し、具体的な解決策やサービス向上策の実現に向けて、実務的な検討を行ってきた。

(今後の取り組み)

- 一 経営の一元化については、財務状況、組織形態等様々な課題があることから、協議を続ける。
- 二 東京メトロの早期完全民営化の課題については、法律を踏まえ、協議を続ける。
- 三 利用者利便の向上等の観点から、サービスの一体化を段階的に進めることとし、乗換面・運賃面でのサービス向上策について、以下のとおり、速やかに実施する。

- (1) 乗換の改善については、まずは、九段下駅ホームの壁の撤去に向け、平成23年中に着手する。その他の乗換改善方策(※)についても、両事業者において検討・協議する。

※本郷三丁目駅等の連絡通路整備、岩本町駅・秋葉原駅等の乗換駅の追加指定、六本木駅等の改札通過サービス 等

- (2) 運賃の乗換負担軽減策については、昭和31年の都市交通審議会答申等を踏まえ、通算運賃制度や乗継割引の拡大等について、具体的に検討を行い、平成23年夏までに結論をとりまとめる。